

整理番号：6-3

提言題名：救急搬送の際のルート確認について

**【提言の要旨】**

先日雨の日に、知人が取手駅で救急車を呼んでもらいました。駅員さんに車いすに乗せてもらい、救急車到着まで待っていました。改札付近からロータリーの救急車まで、救急隊員の方々がルートを試行錯誤しながら運搬していました。市内主要建物から救急車待機位置までのバリアフリールートに関しては、平時に事前に確認・打合せしていただけていると、搬送を迷わずにスムーズに行うことができると思います。ご一考をお願いします。

(40代 男性 平成30年9月受付)

**【回答の要旨】**

この度は、救急現場活動において、お怪我をされた方は勿論、お客様にも不安な思いをさせてしまったことに対し、心からお詫び申し上げます。今回、救急車待機場所までの移動の際に時間を要してしまったことについては、バリアフリールートの把握がされていなかったことが要因であることから、今後の救急活動においても傷病者の苦痛の軽減及び医療機関までの早期搬送という概念から再発防止に努めるよう職員に対し指導いたしました。今後については、ご提言を踏まえ、建物の構造や最善の搬送ルートを把握するなど適正な救急業務の搬送に努めて参ります。

(消防本部総務課 平成30年9月回答)